科目ナン	バリン	グ U-1	U-LAS05 20059 LJ39									
授業科目 <英訳>	Topic	es in Hun	里学各論IV(地理情報) n Human Geography IV phic Information)			担当者所属 職名・氏名		文学研究科 准教授 埴淵 知哉				知哉
群	人文・社会科学科目群 分野(分類) 地域				地域・	或・文化(各論)				使用言語 日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ		授業	形態 講	講義(対面授業科目		∄)	
開講年度・開講期	2025 •	前期	曜時限月	1		配当	学年	年全回生		対象学生		全学向

[授業の概要・目的]

本講義では、人文地理学における地理情報の収集・分析・可視化の方法を扱う。諸事象の空間的広がりや地域差を把握し、そこから何らかの規則性や関連性を導き出すためには、適切なデータと方法を用いることが必要になる。特に定量的なアプローチを用いる際には、地域統計や空間データ(位置情報)を適切に処理することではじめて有効な知見を導き出すことができる。そこで本講義では、多様な統計地図の紹介を通じて地理情報の有効性と課題を議論することから始め、より具体的に国勢調査をはじめとする各種統計調査におけるデータ収集の方法、それらのデータを用いた地域分析の方法、そして地図による可視化の方法を紹介し、実際にその一部を用いてデータ処理の実習までをおこなう。また、その基盤となる計量地理学とGIS(地理情報システム)についても講義の中で紹介する。

[到達目標]

地理情報にかかわる基本概念を理解する

地理情報の収集・分析・可視化における要点を説明できるようになる

地理情報を実際に収集し、加工・分析する手法を習得する

[授業計画と内容]

- 第1回 講義の概要と地理学の紹介
- 第2回 地理情報をめぐる諸概念
- 第3回 統計地図で俯瞰する地域と社会
- 第4回 地域差を可視化する
- 第5回 地域差を分析する
- 第6回 統計地図をめぐる諸問題
- |第7回 国勢調査と様々な地域統計
- |第8回 統計的調査の方法
- |第9回 統計的調査の設計
- 第10回 系統的観察によるデータ収集
- |第11回 傾向と集積性の可視化
- 第12回 計量地理学とGIS
- 第13回 地図の歴史とGIS
- 第14回 デジタルマップの諸影響

《期末試験》

|第15回 フィードバック

進捗状況に応じて順序を入れ替えたり一部変更にしたりする可能性があります。

人文地理学各論Ⅳ(地理情報) (2)
 [履修要件]
<u> </u>
[成績評価の方法・観点]
- 試験(50点)、実習課題およびコメントシートの提出(50点)
[教科書]
使用しない
[参考書等]
(参考書) 授業中に紹介する
[授業外学修(予習・復習)等]
授業中に参考となる文献を適宜紹介するので、それをもとに予習復習をおこなうこと。
[その他(オフィスアワー等)]
【重要】受講者は各自のPCを教室に持参すること。本講義では地理情報への理解を深めるため、実際にデータを用いた作業をおこないます。
[主要授業科目(学部・学科名)]